第2学年 図画工作科学習指導案

1 題材名 「絵のぐでへんしん! わくわくシート」(造形あそび)

2 題材の考え方

本題材は、大きな透明シートからイメージを広げ、絵の具で表したいものを思い付き、形や色を工夫しな がら楽しんで変身できるようになることをねらいとしている。

この題材ではカラーセロハンではなく、造形表現絵の具を用いて友達と一緒に透明シートを変身させる。 造形表現絵の具ははさみや接着の技能を必要とせず、自分の思いをすぐに形や色に表すことができる。そこ で子どもたちは、自然に友達とかかわりながら自分の感性を働かせてかきたいものを思い付き、形や色を工 夫してダイナミックに表し、生き生きと活動することができると考える。また子どもたちは大きなシートが どんどん変身していくことにより、活動の面白さや満足感を味わうことができると考える。

であいの段階で友達と一緒に大きな透明シートで遊ばせることで、絵の具で変身させようとする意欲を引き出したい。表現の段階では、友達と交流しながら活動できる広い場を設けたり、用具等のコーナーを工夫したりすることで、互いの活動を見合ったり、話し合ったりして、楽しみながら形や色を工夫することができるであろう。さらに鑑賞の段階では光の中で変身したシートで遊び、作品を廊下や校庭の遊具などに飾るようにする。そこへ保護者を招待して自分や友達の活動の面白さを伝え、保護者からも面白いところを話してもらうことにより、子どもたちはシートを楽しく変身できたことを実感できると考える。

3 人とのかかわりを大切にした学習指導の工夫

- 友達とのかかわりから発想を広げる材料とのであいの工夫 みんなでシートを広げたり、下にもぐったりして十分にかかわらせることで、一人では気付くことが できなかったシートの大きさや透明さ、楽しさなどに気付き、みんなで絵の具で変身させようとする意
- 友達とのかかわりが生まれやすい場作り

欲を引き出したい。

通りやすい通路や十分に活動できる広い場を確保し、用具コーナーやお試しコーナーを一箇所にする ことにより、活動中に友達とのかかわりが自然に生まれ、視線や会話による鑑賞や交流をしながら活動 が広がるようにしたい。

○ 自分や友達の活動の面白さが実感できる鑑賞活動の工夫

導入での段階で変身させたシートは保護者に見てもらうことを伝え、子どもたちの意欲を高める。鑑賞会では作品を通して保護者と活動の楽しさの話し合い、どの子も活動に満足感がもてるようにしたい。

4 本題材の目標

○ シートを絵の具をつかって変身させる活動を楽しもうとする。

(造形への関心・意欲・態度)

○ シートに表したいものを思い付き、形や色の面白さを考えることができる。

(発想や構想の能力)

○ シートに表したいものの形や色を工夫することができる。

(創造的な技能)

○ シートで遊んだり、友達などとかかわったりして、形や色の面白さに気付くことができる。

(鑑賞の能力)

5 指導計画(3時間)

5	指導計画(3時間)		
	ねらい	学習活動	配時
であい	大きな透明シートに出会い、絵の具で変身させる活動に興味・関心をもつ。	1 みんなで大きな透明シートで遊んだ後、「友達と絵の具で楽しく変身させ、おうちの人に見てもらう」ことを知る。	1 2年2組 2年3組 本時
表現	友達と楽しみながら、表したいものの形や色を工夫しながら活動する。	3 表したいものの形や色を工夫したり、友達とかかわったりして自分の思いを広げる。 ○○くんの魚のとなりに、いろんな色のこんぶをかいてみようかな。 シートを持って、みんなの分を全部つないで廊下に飾りたいな。 ジートを持って、みんなで走ってみてもいいのかな。	1 2年1組 本時
鑑賞	自分たちが変身させたシートで遊んだり、見せたりして、活動の面白さに気付く。	5 持ち上げたシートの下にもぐってみたり、風になびかせて走ったりしながら、みんなで遊ぶ。	1

第2学年1組 図画工作科学習指導案(表現)

6 本時目標(2/3)

○ シートを絵の具をつかって変身させる活動を楽しもうとする。 (造形への関心・意欲・態度)

○ シートに表したいものの形や色を工夫することができる。

(創造的な技能)

7 本時学習にあたって

子どもたちが友達とかかわりあいながら、形や色を工夫して楽しんで活動する姿をめざす。そのために、 通りやすい通路や、十分に活動できる広い場を確保したり、絵の具コーナーとお試しコーナーを一箇所にし たりする。そのことで、活動中に友達とのかかわりが自然に生まれ、鑑賞・交流がスムーズにでき、子ども たちが、より表したいものの形や色を工夫し、楽しんで活動きると考える。また、ステージの上を鑑賞コー <u>ナーに設定する</u>ことで、友達の活動のよさや面白さを取り入れながら活動することができると考える。

8 展開

学習活動・予想される子どもの姿

教師の支援 ※人とのかかわりに関する支援

1 本時のめあてを確かめる。

めあて形や色をくふうして、もっとすてきにへんしんさせよう。

- 2 形や色を工夫して表したいものをかく。
- (1) 絵の具の使い方や活動の約束を想起させる。
- (2)シートに形や色を工夫して絵をかく。

絵の具が乾いているから, 上にもようをかいてみよ う。





○○ちゃんは何をかいたの? 面白い形だね。

あそこが空いているから, 虹を かこうかな。楽しくなってきたぞ。



3 本時を振り返り、シートで次時にどんなことをした | ○ 図工ノートに振り返りや自己評価をさせ、次時 いか話し合う。

みんなのをつなげて,飾りたいな。 おうちの人が見に来てくれるのが 楽しみだな。



- 活動の方向付けを行うために、前時の活動で、 色や形を工夫した子どもたちに発表させる。
- 乾いているので、前回の絵の上にもかき足し て、色や形をさらに工夫してよいことを伝える。
- 子どもたちが形や色を工夫しているところを 賞賛する。
- ※ 活動が停滞していたら、ステージの上の鑑賞コ ーナーに行き,他の友達の活動を見てもよいこと を伝える。
- ※ 広い通路を設け、活動全体を通して、自由に鑑 賞・交流ができるようにする。



に生かす。

第2学年2組 図画工作科学習指導案(であい)

6 本時目標(1/3)

○ シートを絵の具をつかって変身させる活動を楽しもうとする。 (造形への関心・意欲・態度)

○ シートに表したいものを思い付き、形や色の面白さを考えることができる。 (発想や構想の能力)

7 本時学習にあたって

子どもたちがみんなで大きなシートにかかわり、シートから発想を広げ、自分の思いのままに楽しんで活 動する姿を目指す。そのために**ダイナミックな活動ができるよう11人グループを組み,みんなでシートを** 広げたり、下にもぐったりして十分にシートにかかわらせ、シートの楽しさについて話し合った後に、「友達 と絵の具をつかって楽しく変身させ、おうちの人に見てもらおう」と活動を提案する。そのことで、子ども たちは活動に関心をもち、楽しんで取り組むことができると考える。

8 展開

学習活動・予想される子どもの姿

1 材料と出会い、本時のめあてをつかむ。



うわー。大きい。みんなで 引っ張ってみよう。長いね~。

教師の支援 ※人とのかかわりに関する支援

- ※ 広い場所で、みんなでシートを広げたり、下に もぐったりしてかかわらせ、シートの柔らかさや 透明さなどの楽しさに気付かせる。
- ※ 変身させたシートは、保護者に見に来てもらう ことを知らせ、意欲を高める。

めあて、絵の具をつかって、みんなでシートをへんしんさせよう。

- 2 絵の具の使い方や約束を知り、自分の思いのままに 表す。
- (1) 絵の具の使い方や活動の約束を知る。
 - 友達がかいたものを踏まないこと
 - 筆やパレットの色を混ぜて使わないこと
 - お試しコーナーで自由に試せること
 - 色を重ねる時は、乾いた後にすること
- (2) シートに自分の思いのまま絵の具で表す。

何をかこうかな・・・ よーし、私はきれいな虹を かいてみよう。





ぼくは,大きなくじらを かこう。

3 本時を振り返り、次時の活動の見通しをもつ。

今日はくじらをかいてとっても 楽しかったな。次の時間は何を かこうかな。





- アイデアが浮かんだら、お試しコーナーで試し てもよいことを伝える。
- ※ 活動が停滞していたら、他の友達がかいている ところを見に行ってもよいことを伝える。
- ※ 広い通路を設け、活動全体を通して、自由に鑑 賞・交流ができるようにする。
- ※ 絵の具コーナーとお試しコーナーを一箇所に することで、自然に会話が生まれ、 互いの活動の 様子を伝え合えるようにする。
- 図工ノートに振り返りや自己評価をさせ、次時 に生かす。

第2学年3組 図画工作科学習指導案(であい)

6 本時目標(1/3)

○ シートを絵の具をつかって変身させる活動を楽しもうとする。 (造形への関心・意欲・態度)

○ シートに表したいものを思い付き、形や色の面白さを考えることができる。 (発想や構想の能力)

7 本時学習にあたって

子どもたちがみんなで大きなシートにかかわり、シートから発想を広げ、自分の思いのままに楽しんで活 動する姿を目指す。そのために、**互いにかかわりやすいよう5~6人でグルーピングをし、みんなでシート** を広げたり、下にもぐったりして十分にシートで遊ばせ、シートの楽しさについて話し合った後に、「友達と 絵の具をつかって楽しく変身させ、**おうちの人に見てもらおう**」と活動を提案する。そのことで、子どもた ちは活動に関心をもち、楽しんで取り組むことができると考える。

8 展開

学習活動・予想される子どもの姿

1 材料と出会い、本時のめあてをつかむ。



うわー。大きい。 みんなで引っ張って パタパタしてみよう。

教師の支援 ※人とのかかわりに関する支援

- ※ 広い場所で、大きなシートを広げたり、下にも ぐったりしてかかわらせ、シートの柔らかさや透 明さなどの楽しさに気付かせる。
- ※ 変身させたシートは、保護者に見に来てもらう ことを知らせ、意欲を高める。

めあて、絵の具をつかって、みんなでシートをへんしんさせよう。

- 2 絵の具の使い方や約束を知り,自分の思いのままに
- (1) 絵の具の使い方や活動の約束を知る。
 - 友達がかいたものを踏まないこと
 - 筆やパレットの色を混ぜて使わないこと
 - お試しコーナーで自由に試せること
 - 色を重ねる時は、乾いた後にすること
- (2) シートに自分の思いのまま絵の具で表す。

何をかこうかな・・・ 私はきれいなお花をか いてみたいな。





よーし。ぼくは飛行機を かこう。

3 本時を振り返り、次時の活動の見通しをもつ。

いっぱいかいたね。 次はあそこにかきたいな。





- アイデアが浮かんだら、お試しコーナーで試し てもよいことを伝える。
- ※ 活動が停滞していたら、他の友達がかいている ところを見に行ってもよいことを伝える。
- ※ 広い通路を設け、活動全体を通して、自由に鑑 賞・交流ができるようにする。
- ※ 絵の具コーナーとお試しコーナーを一箇所に することで、自然に会話が生まれ、互いの活動の 様子を伝え合えるようにする。
- 図エノートに振り返りや自己評価をさせ、次時 に生かす。